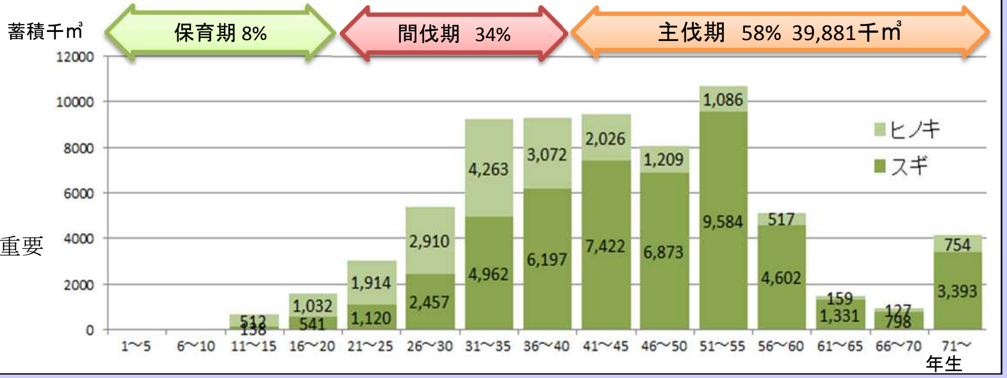
島根県における森林・林業・木材産業の振興　～循環型林業の実現に向けて～

資料３

取り巻く情勢　県内動向

〇森林資源と木材を取り巻く情勢
- 国内の森林資源は成熟期到来、木材輸入量は減少傾向
  国内需要は、国産原木安定供給に高い期待
- 島根県の人工林（スギ・ヒノキ）
  通常伐採が可能な時期（41年生～）　現在40%超
  このまま推移すると10年後は・・・　　約70%

★「循環型林業」の確立に向けた取組
- 経済活動と環境保全を両立、豊かな森林を次世代へ引継ぐことが重要
- 「伐って、使って、植えて、育てる」取組を一体的に推進



県が行っている取り組み

「使って」～流通･加工･販売･需要拡大～

原木流通の仕組みづくり

●大型工場（合板工場）・県外への安定供給の取組推進
- 「斐伊川流域森林組合納材協議会」設立　（H21.10月）
- 「島根県素材流通協同組合」設立　（H21.3月）
- 「隠岐の木出荷共同体」設立　（H26.3月）
  ※複数の木材生産事業者の協力連携による安定供給

木材需要拡大

●「しまねの木建築利用促進事業」による活用促進
- H21～H24の４年間で、約1,600棟の県内民間木造住宅に助成
  ※新築、増改築、修繕模様替

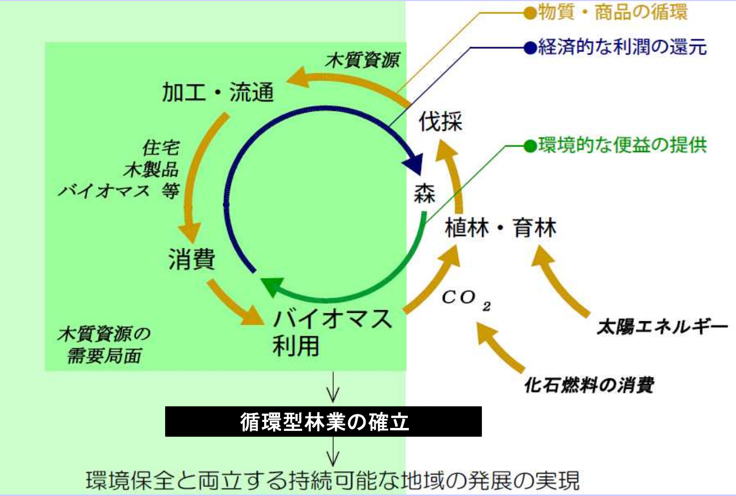
●「木材製品県外出荷しまね事業体連合」による県外販路拡大活動
- H24年設立、製材所など20事業体参加
- 都市部での展示・商談会等を開催、出展

●公共施設での県産材の活用促進
県、全市町村「木材の利用促進に関する基本方針」策定
- 島根県の県産木材利用実績（単位：㎥）　※原木換算

区分	H22年度	H23年度	H24年度
建築部門	1,696	724	1,318
土木部門	3,560	2,940	1,620
計	5,256	3,664	2,938

益田児童相談所

浜田警察署　浜田西交番



木質バイオマス利用促進

●木質バイオ発電に向けた燃料チップ供給
- 燃料チップ供給者への支援
  チップ工場新設、機械等の増強
  集荷量車両、高性能林業機械導入
- 木質バイオ発電所の概要

事業者名	合同会社しまね森林発電（江津市）	松江バイオマス発電株式会社（松江市）
発電規模（1時間あたりの発電量）	12,700kw	6,250kw
売電量(年間)	8,600万kwh	4,342万kwh
所在地	江津市松川町	松江市大井町
燃料調達計画	118,000　t／年	88,000　t／年
県産木質バイオマス量	155,000　t／年（林地残材　120,000　t／年、製材端材　35,000　t／年）	

●チップ等ボイラー施設導入促進
- 木材乾燥用、温浴施設給湯用など

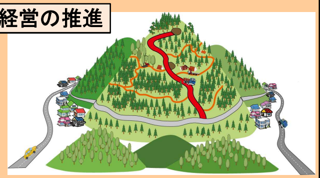
木くず焚き
ボイラー
木材乾燥機

燃料用
チップ

「伐って」～原木増産～

森林経営計画樹立による集約的経営の推進

●森林経営計画の必要性
- 森林施業の集約化
- 森林の利用価値の向上
- 補助制度等の優遇措置あり



主伐促進による原木増産

●「循環型林業に向けた原木生産促進事業」（H24～）
- 県内原木の伐採量は、県内需要を大きく下回る状況
- 所有者の主伐による原木生産の経費を一部助成

低コスト木材生産のための基盤整備

●路網整備・高性能林業機械の導入支援

高性能林業機械による木材生産

木材搬出用の作業道

「植えて」「育てる」～再造林の推進･苗木の確保～

再造林の促進と所有者負担軽減

●新植支援
- 国の造林補助金に加え、県が上乗せ補助

苗木の安定供給体制強化

●苗木生産施設等の整備費助成
- 国の補助制度を活用し支援